

令和元年度『交通エコロジー教室』を開催しました。  
～北九州市及び福岡市の小学生が地球温暖化対策を学びました～

九州運輸局では、10月から11月にかけて、小学校高学年の児童を対象とした出前授業「交通エコロジー教室」を開催しました。

今年度は北九州市で4校、福岡市で1校実施し、約190名の児童の参加がありました。

交通エコロジー教室では、地球環境問題の大家である浅野直人福岡大学名誉教授の授業と地球温暖化防止模型を使いCO<sub>2</sub>による温度上昇実験を実演することで「地球温暖化のしくみ」「わたしたちの暮らしへの影響」について学習しました。そして「自分たちにできることは何か」ということを参加の児童に考えてもらい、環境にやさしい乗り物である公共交通利用を呼びかけました。

授業の後半では、開催地である北九州市のご協力により、環境性能に優れた燃料電池自動車（FCV）や電気自動車（EV）を校内へ持ち込み、実物に触れる体験学習を行いました。

本教室は、交通分野の視点から地球温暖化対策を学ぶことで、環境にやさしい公共交通の利用促進に繋げるとともに、地球温暖化が進んでいる現状に対する問題意識を持ってもらうことを目的として開催しています。

参加した児童からは「できるだけ電気は消すようにしたい」「もっとバスを利用しようと思った」などの感想が多数あり、地球温暖化が進むことへの危機意識や、公共交通を利用することの重要性を感じてもらえたのではないかと考えています。

また、車両の展示では、車種ごとの構造の違いなどに触れることで、エコカーをより身近に感じられたものと思います。

九州運輸局では、引き続き環境教育に取り組んでいきます。

# 「交通エコロジー教室」を開催しました！ ～小学生が地球温暖化対策を学びました～

## 城野小学校での開催の様子



福岡大学浅野名誉教授による授業の様子  
「地球温暖化がどうやって進むのか」を学習しました。



地球温暖化模型での実演  
左は空気が入った模型、  
右は二酸化炭素が入った模型、  
樋口課長が温度の違いを確認しています。



水素自動車を見学中の児童たち。  
北九州市の職員から詳しい説明を受けました。

## 赤崎小学校での開催の様子



次世代自動車の動力のしくみと環境にやさしい理由を北九州市樋口係長が丁寧に教えて下さいました。



燃料電池自動車と電気自動車とハイブリッド自動車三者三様の特征があることを学びました。燃料電池車等に溜めた電気を非常時に使うことが出来ることも勉強しました。